第２回　丸亀市下水道事業運営審議会資料

～ 使用料の改定案について ～









令和8年10月15日

丸亀市下水道事業運営審議会



目 次

１．下水道使用料の改定の必要性　～ 第１回審議会の振り返り ～
・・・・・・・・・・ 1

２．前回改定時の見通しと現在の状況
・・・・・・・・・・ 4

３．丸亀市下水道事業の今後の見通し　～ 財政シミュレーション ～
・・・・・・・・・・ 8

４．使用料改定率ごとの効果について
・・・・・・・・・・15

５．使用料改定案について
・・・・・・・・・・19

１．下水道使用料の改定の必要性

～　第１回審議会の振り返り　～

経営の基本原則

「独立採算制の原則」

・・・地方公営企業においては、その経費は、一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない。

国土交通省の要請

・概ね５年程度で、使用料改定の必要性について検討

・経費回収率の改善に向けたロードマップの策定

経費回収率・・・汚水処理に要する費用を使用料収入でどの程度賄えているかを示す指標

丸亀市下水道事業経営戦略での方針

基本方針　「丸亀市における地域の暮らしを守る安心・安全な下水道づくり」

→ 経営方針　① 快適な住環境の構築 ② 安心・安全な下水道づくり ③ 持続可能な経営基盤の確立

→ 目標　・経費回収率100％の実現　・一般会計からの基準外繰入金の削減

基準外繰入金・・・使用料で賄うべき経費を市税等で補填している額

目標到達への取組

・消化ガス発電事業 ・水洗化活動 ・農集施設の公共下水道への接続 ・維持管理業務の包括的外部委託

現状

・人口減少により下水道使用量は年々減少、それに伴い使用料収入も減少

・老朽化施設の改築更新、旧浄化センター解体に伴う工事費の増大と企業債償還金及び利息の増大

・資金不足を補うため、一般会計からの基準外繰入金の増大

課題

・経費回収率・・・・100％には到達していない

・基準外繰入金・・・従前の見込を大きく上回る



経営改善のためには早急な下水道使用料の改定が必要

２．前回改定時の見通しと現在の状況

前回改定時（令和４年７月）の見通しと現在の状況

上段 ： 前回改定時のシミュレーション
中段 ： 実績値
下段 ： 増減（赤字はマイナス）

有収水量と使用料収入の比較

	R4	R5	R6	R7
有収水量（㎥）	6,631,915	6,598,034	6,564,152	6,530,270
	6,361,501	6,365,813	6,339,349	6,269,853
	-4.08%	-3.52%	-3.42%	-3.99%

	R4	R5	R6	R7
使用料（千円・税抜）	1,013,327	1,020,296	1,015,057	1,009,817
	974,630	994,535	988,842	979,170
	-38,697	-25,761	-26,215	-30,647

・有収水量は平均で約3.7％減少を続けており、それに伴い使用料収入も年平均で約3,000万円程度の減収

各種費用の比較

上段 ： 前回改定時のシミュレーション
中段 ： 実績値
下段 ： 増減（赤字はマイナス）

	R4	R5	R6	R7
経費 （千円・税抜）	699,200	699,575	719,350	708,165
	659,228	684,003	871,612	736,995
	-39,972	-15,572	152,262	28,830

＊業務委託料、光熱水費、燃料費、人件費等

	R4	R5	R6	R7
建設改良費 （千円・税抜）	3,940,016	3,566,019	1,635,949	1,338,649
	3,748,133	3,704,707	1,882,356	1,512,548
	-191,883	138,688	246,407	173,899

＊工事費、計画策定費、設計費等

	R4	R5	R6	R7
旧浄化センター 解体工事費 （千円・税抜）	0	0	1,692,000	2,538,000
	0	0	0	292,942
	0	0	-1,692,000	-2,245,058

＊工事費、設計費等
＊各年度のマイナスは、事業進捗の遅れにより事業費を翌年度に繰越して実施しているため

	R4	R5	R6	R7
減価償却費 （千円・税抜）	1,596,587	1,554,925	1,724,490	1,739,389
	1,497,856	1,429,433	1,833,531	1,822,977
	-98,731	-125,492	109,041	83,588

	R4	R5	R6	R7
支払利息 （千円・税抜）	158,457	148,509	140,406	133,950
	149,92	150,130	151,861	158,873
	-8,515	1,621	11,455	24,923

・物価上昇、人件費上昇に伴い、業務委託料、光熱水費等の経費は、大幅に増加
・建設改良費も、原材料費、人件費の増大、老朽化施設等の増加により、大幅に増加
・建設改良費の増加に伴い、減価償却費、支払利息も増加

経費回収率の比較　＊汚水処理に要する費用を使用料収入でどの程度賄えているかを示す指標

	R4	R5	R6	R7
経費回収率 （%）	99.80%	103.12%	100.56%	100.40%
	96.54%	94.07%	96.31%	95.63%
	-3.26%	-9.05%	-4.25%	-4.77%

・使用料収入の減少、各種費用の増大に伴い、経費回収率は期間を通して減少

基準外繰入金の比較　＊使用料で賄うべき経費を市税等で補填している額

	R4	R5	R6	R7
基準外繰入金 （千円・税抜）	120,000	70,000	70,000	70,000
	90,000	135,000	30,000	70,000
	-30,000	65,000	-40,000	0

・年度ごとに多寡はあるが、平均的には見込みどおり

前回改定時のシミュレーションと比較すると、現状は大きく乖離しており、より厳しさを増している

３．丸亀市下水道事業の今後の見通し

～　財政シミュレーション　～

財政シミュレーションの前提条件

（前回改定時（令和３年度推計）及び経営戦略策定時（令和６年度末推計）からの主な変更点）

・令和７年度決算及び令和８年度予算の反映

・人口シミュレーションに応じた有収水量及び下水道使用料収入の更新

・直近に公表されている見通しに応じて物価上昇率を更新
（経営戦略）年平均　1.0%　→　（今回）年平均　2.0%
＊内閣府発表「中長期の経済財政に関する試算」参照）
＊前回改定時には具体的な物価上昇率を設定せず過去の支出実績から推計

・建設工事等の予定を最新の見通しに更新（各シミュレーション期間の合計）
（前回）約243億円　→　（経営戦略）約270億円　→　（今回）約345億円

・企業債利息の利率を、直近の借入及び最新の公表利率を基に更新
（前回）平均 0.4 %　→　（経営戦略）年利 1.17%　→　（今回）平均 4.0 %

・流域下水道維持管理費の単価（1㎥あたり）を更新
R9～R10 現行単価　R11以降 見込単価

主要な建設工事の今後の見通し

（単位：千円・税込）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
管渠改築	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
ポンプ場改築	4,326,000	3,417,000	2,089,000	582,000	446,000	980,000	857,000	674,000	532,000	600,000
地震対策	30,000	80,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
浸水対策	100,000	100,000	393,000	394,000	800,000	1,120,000	200,000	200,000	200,000	200,000
旧浄化センター解体	1,429,000	2,449,200	2,125,000	0	0	0	0	0	0	0
未普及対策	200,000	200,000	200,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000

■老朽化対策・耐震化事業
- ・管渠改築　管渠（φ250㎜～2,500㎜）6,261m、マンホール本体270箇所
- ・ポンプ場改築　耐震・耐水化、水処理施設、ポンプ、制御盤等改築更新
  改築ポンプ場（塩屋、塩屋中継、清水中継、城北、土器中継、城西）
- ・地震対策　管路、人孔の耐震化

■浸水対策事業
- ・土器ポンプ場整備工事の他、丸亀市総合排水計画の策定に基づく計画的な施設整備

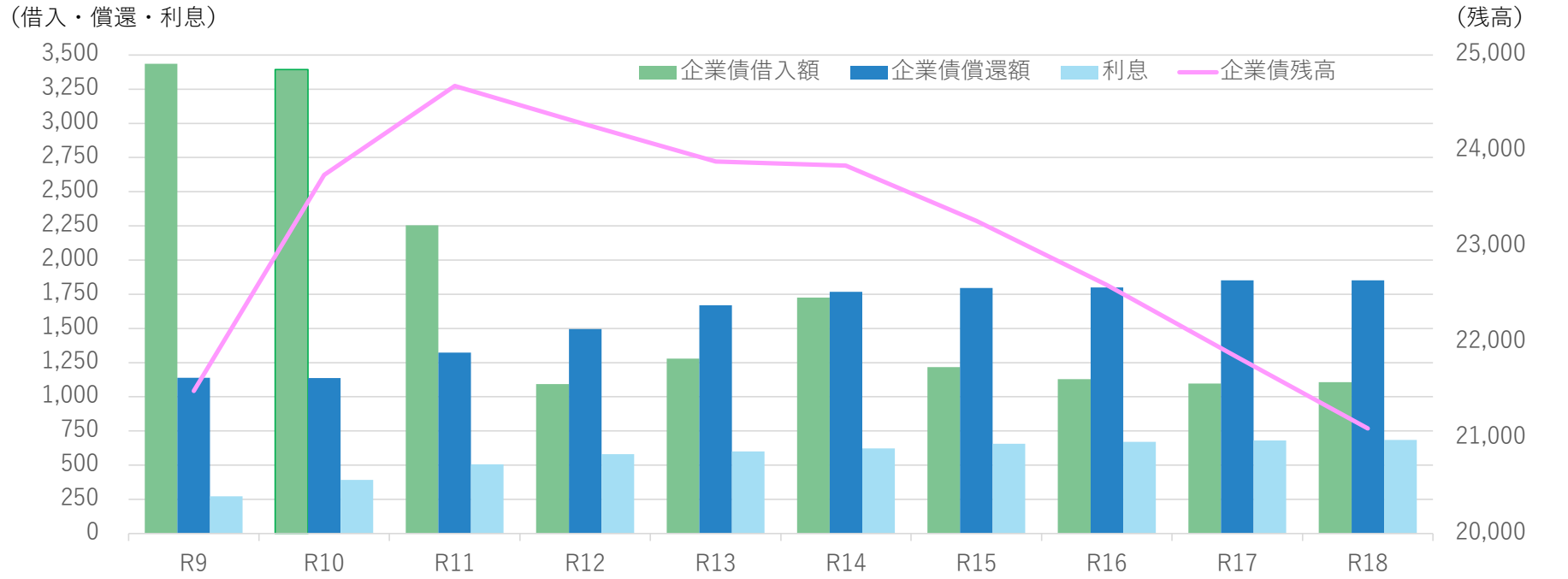
■浄化センター再構築事業（旧浄化センター解体工事）
- ・管理棟・機械棟・水処理施設等（地下部）撤去、汚泥濃縮タンク・消化タンク等撤去、基礎杭引抜

■未普及対策事業
- ・事業計画区域内における下水管路の計画的な整備

企業債及び企業債利息

・解体工事が続く令和11年度までは借入額が増加、その後も施設更新等により一定程度の借入が必要
・令和１２年度以降は、償還額及び利息の支払額が増加

（単位：百万円）

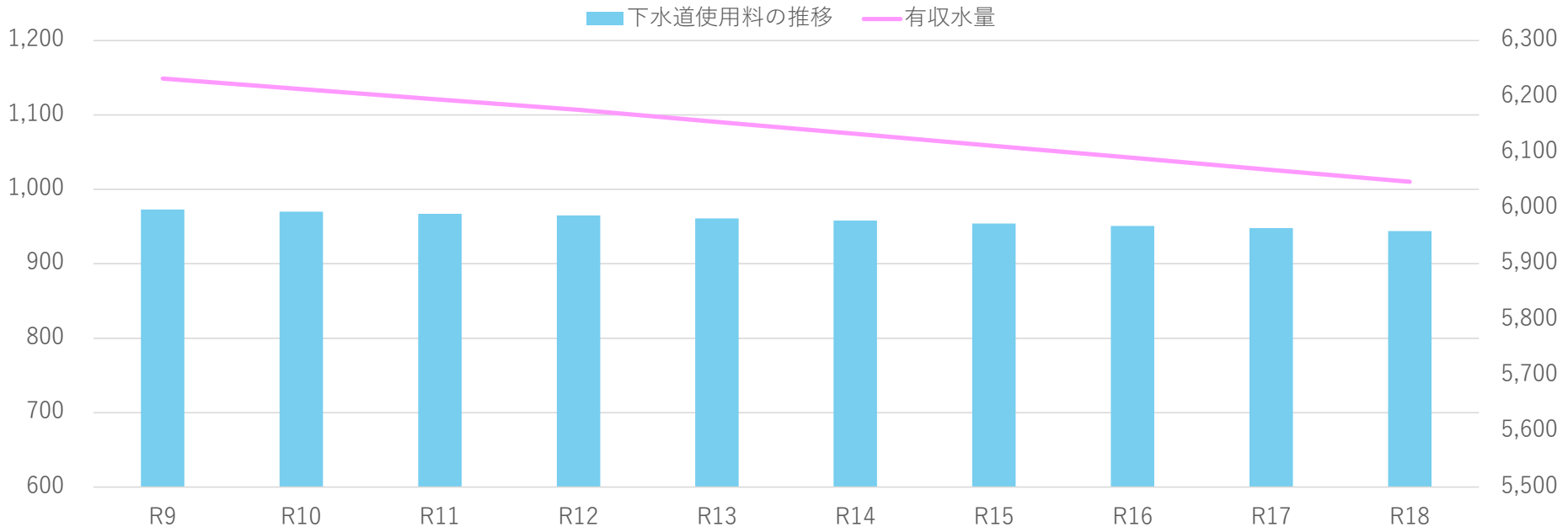


	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
借入額	3,435	3,394	2,254	1,092	1,279	1,726	1,217	1,129	1,097	1,106
償還額	1,138	1,137	1,323	1,495	1,669	1,769	1,795	1,799	1,852	1,851
利息	272	393	507	580	601	623	657	671	680	685
残高	21,490	23,747	24,678	24,276	23,887	23,844	23,265	22,596	21,841	21,096

有収水量と下水道使用料

・人口減少に伴い、有収水量、使用料収入ともに減少を続ける見込み

（単位：百万円・税抜）　　（単位：千㎥）

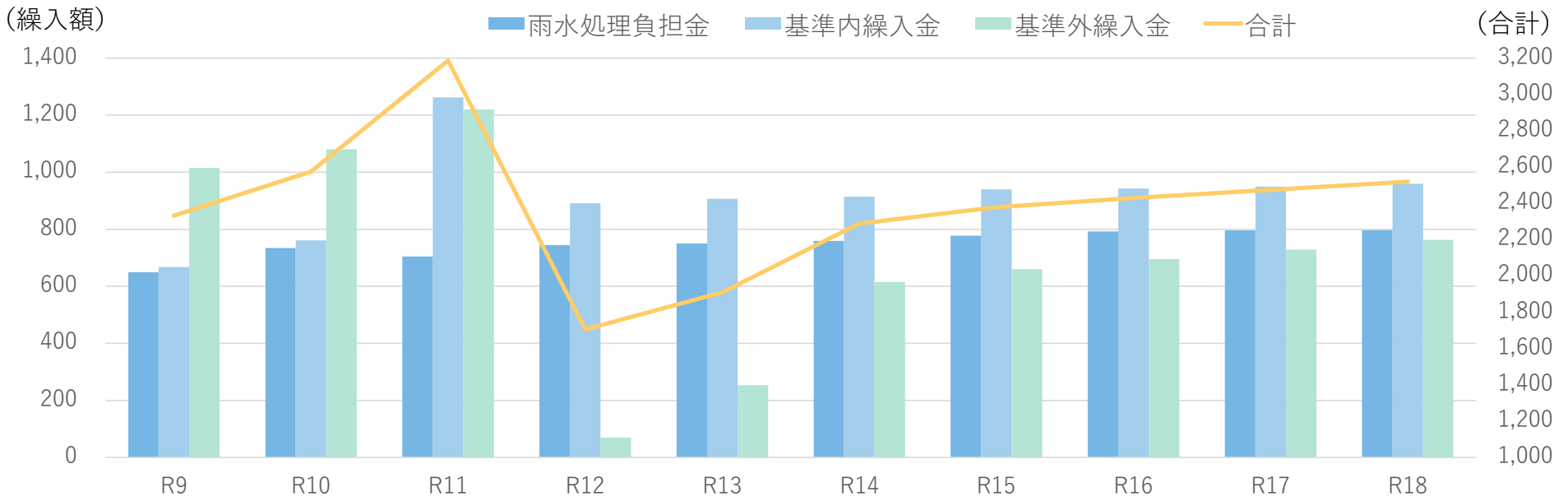


	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
有収水量	6,232	6,213	6,195	6,176	6,154	6,133	6,111	6,090	6,068	6,047
下水道使用料	973	970	967	965	961	958	954	951	948	944

一般会計繰入金

・解体工事の進捗に伴い基準外繰入金が大幅に増加、令和１１年度ピークを迎える
・維持管理費、減価償却費、企業債利息等の増加により、令和１２年度以降も年々増加を続ける

（単位：百万円）

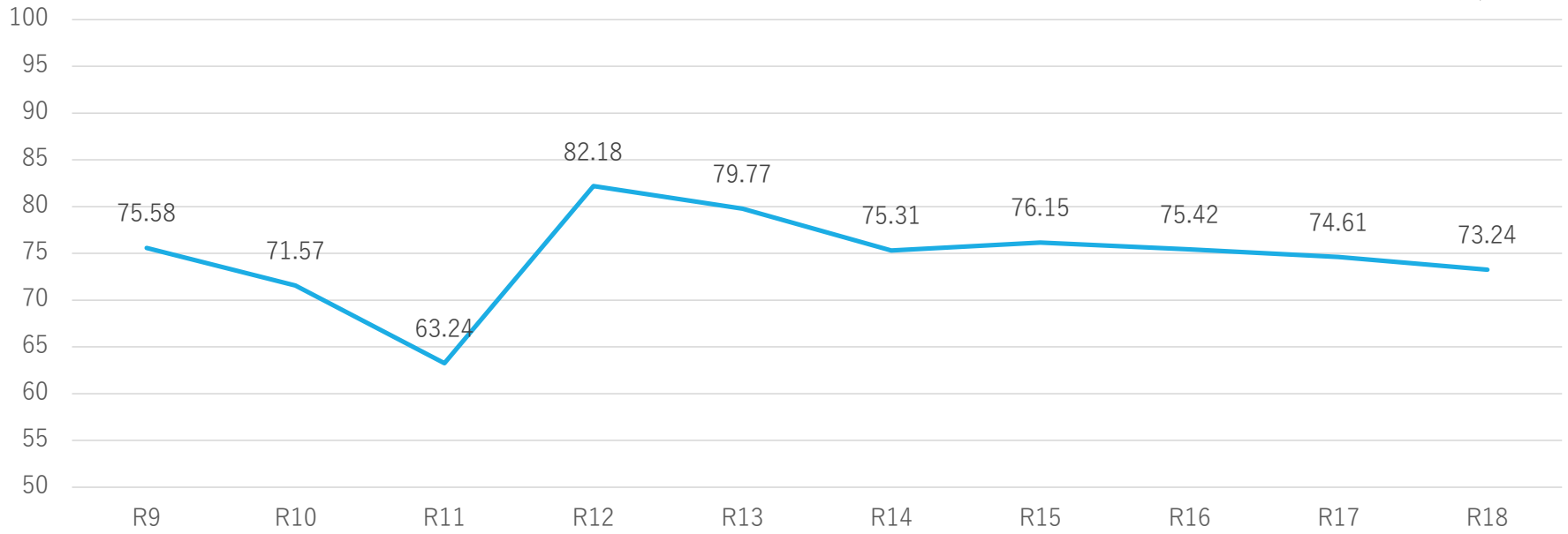


	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
雨水処理負担金	649	734	705	744	750	759	778	792	796	797
基準内繰入金	668	761	1,262	891	907	914	940	943	949	959
基準外繰入金	1,015	1,080	1,220	70	253	615	660	695	729	763
合計	2,332	2,575	3,187	1,705	1,910	2,288	2,378	2,430	2,474	2,519

経費回収率

・解体工事が続く令和１１年度までは、年々低下
・令和１２年度にわずかに回復するが、維持管理費、減価償却費、企業債利息等の増加により、その後も80%を下回る低い水準で推移

（単位：%）



	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	75.58	71.57	63.24	82.18	79.77	75.31	76.15	75.42	74.61	73.24

＊100%に満たない部分は、市税などで補うこととなる

４．使用料改定率ごとの効果について

本市下水道事業を取り巻く環境

上水道の改定予定

令和１０年４月より、約３０％の増額改定で現在審議中

近隣市の改定状況

坂出市　令和６年１０月改定　平均約５％の増額改定
高松市　令和８年６月改定　　約３０％の増額改定

県内市の下水道使用料の平均値（一般家庭1か月あたり下水道使用料（円/20㎥：税込））

￥３，２０５－（丸亀市 ￥２，５３０－ の約１.３倍）

改定率ごとの改定効果

改定率	改定の効果	
	経費回収率	基準外繰入金
１０％　～　２０％	現状程度まで改善	削減は限定的
２５％　～　３０％	概ね100％程度を維持	一定程度の削減
３５％　～　４０％	110％程度にまで改善	基準外繰入金を大幅に削減

増額なし

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	75.58%	71.57%	63.24%	82.18%	79.77%	75.31%	76.15%	75.42%	74.61%	73.24%
基準外繰入金	1,015,000	1,080,000	1,220,000	70,000	253,000	615,000	660,000	695,000	729,000	763,000

［ 使用料改定５年後の見込 ］

10％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	83.14%	78.73%	69.56%	90.39%	87.75%	82.84%	83.76%	82.97%	82.07%	80.57%
基準外繰入金	917,670	982,963	1,123,256	0	156,886	519,223	564,559	599,895	634,230	668,562

15％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	86.92%	82.31%	72.73%	94.50%	91.74%	86.60%	87.57%	86.74%	85.80%	84.23%
基準外繰入金	869,005	934,445	1,074,884	0	108,829	471,335	516,839	552,343	586,845	621,343

・経費回収率は、現状よりも低下
・使用料負担の増加は小さいが、収支改善の効果も限定的
・人口減少、費用増加の中で、基準外繰入金は依然として大きい

20％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	90.70%	85.89%	75.89%	98.61%	95.73%	90.37%	91.38%	90.51%	89.53%	87.89%
基準外繰入金	820,340	885,927	1,026,512	0	60,772	423,446	469,119	504,790	539,460	574,123

25％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	94.48%	89.47%	79.05%	102.72%	99.71%	94.13%	95.19%	94.28%	93.26%	91.55%
基準外繰入金	771,675	837,408	978,140	0	12,715	375,558	421,398	457,238	492,075	526,904

・経費回収率は現在程度を維持
・基準外繰入金の圧縮効果は少ない

30％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	98.26%	93.05%	82.21%	106.83%	103.70%	97.90%	98.99%	98.05%	96.99%	95.22%
基準外繰入金	723,010	788,890	929,768	0	0	327,669	373,678	409,685	444,690	479,685

・経費回収率は概ね１００%前後を維持
・基準外繰入金を一定程度圧縮

35％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	102.04%	96.62%	85.37%	110.94%	107.69%	101.66%	102.80%	101.82%	100.72%	98.88%
基準外繰入金	674,345	740,371	881,397	0	0	279,781	325,958	362,133	397,305	432,466

40％

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	105.82%	100.20%	88.54%	115.05%	111.68%	105.43%	106.61%	105.59%	104.45%	102.54%
基準外繰入金	625,681	691,853	833,025	0	0	231,892	278,237	314,580	349,920	385,247

・経費回収率は向上
・将来の資金不足リストが軽減し、基準外繰入金への依存も大幅に減少
・改定率を上げるほど使用料負担額は増加
・大口使用者の離脱の懸念（自己処理へ）

改定率ごとの使用料の推移

一般家庭1か月あたり下水道使用料（円/20㎥：税込）の暫定値								
改定率	現行	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%
使用料	2,530	2,777	2,900	3,036	3,159	3,283	3,406	3,542
現行使用料との差額	―	＋247	＋370	＋506	＋629	＋753	＋876	＋1,012

改定率ごとの県内各市との比較

	市名	現在
1	東かがわ市	3,914
2	高松市	3,243
3	観音寺市	3,217
4	善通寺市	3,190
5	坂出市	2,915
6	さぬき市	2,750
7	**丸亀市**	**2,530**

15%増額	
東かがわ市	3,914
高松市	3,243
観音寺市	3,217
善通寺市	3,190
坂出市	2,915
丸亀市	**2,900**
さぬき市	2,750

20%増額	
東かがわ市	3,914
高松市	3,243
観音寺市	3,217
善通寺市	3,190
丸亀市	**3,036**
坂出市	2,915
さぬき市	2,750

25%増額	
東かがわ市	3,914
高松市	3,243
観音寺市	3,217
善通寺市	3,190
丸亀市	**3,159**
坂出市	2,915
さぬき市	2,750

30%増額	
東かがわ市	3,914
丸亀市	**3,283**
高松市	3,243
観音寺市	3,217
善通寺市	3,190
坂出市	2,915
さぬき市	2,750

35%増額	
東かがわ市	3,914
丸亀市	**3,406**
高松市	3,243
観音寺市	3,217
善通寺市	3,190
坂出市	2,915
さぬき市	2,750

５．使用料改定案について

・本市下水道事業の財政状況及び今後の見通しから、経費回収率の改善及び基準外繰入金の削減には早急な対応が必要

↓

一定程度の増額改定は避けられない状況

↓

・前回改定時のシミュレーションと現状及び今後の見通しには大きな乖離

↓

前回の改定（５％増額）よりも、さらに大幅な改定が必要

↓

・約２０％の増額改定では、経営改善の効果が限定的
・しかし、約４０％の増額改定では、負担の増加が著しく大きい

↓

・約３０％の増額改定により、
経費回収率は概ね１００％を維持　基準外繰入金を一定程度の削減

↓

これらの状況及び改定効果の検証結果を踏まえ、経営改善効果と使用者負担のバランスを考慮し、ご審議いただけますようお願い申し上げます。

（参考資料）

財政シミュレーション

（単位：千円）

区分 ＼ 年度			R7 決算	R8 予算	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収益的収支	収益的収入	営業収益	1,563,285	1,547,747	1,622,425	1,704,936	1,673,751	1,708,337	1,711,653	1,716,668	1,732,091	1,744,495	1,743,371	1,741,190
		使用料収入	979,170	976,233	973,299	970,367	967,439	964,512	961,138	957,770	954,407	951,050	947,699	944,383
		雨水処理負担金	584,069	571,458	649,070	734,469	705,213	743,725	750,414	758,799	777,585	792,345	795,573	796,707
		営業外収益	1,547,233	2,481,754	2,615,485	2,834,269	3,498,029	1,996,596	2,193,847	2,571,921	2,678,055	2,703,611	2,730,097	2,768,216
		補助金	582,109	1,509,737	1,682,651	1,841,294	2,482,318	960,745	1,159,548	1,528,620	1,600,351	1,637,905	1,678,326	1,721,778
		他会計負担金	512,109	579,737	667,651	761,294	1,262,318	890,745	906,548	913,620	940,351	942,905	949,326	958,778
		他会計補助金	70,000	930,000	1,015,000	1,080,000	1,220,000	70,000	253,000	615,000	660,000	695,000	729,000	763,000
		収入計	3,110,518	4,029,501	4,237,909	4,539,205	5,171,780	3,704,933	3,905,500	4,288,589	4,410,146	4,448,105	4,473,468	4,509,406
	収益的支出	営業費用	2,559,972	2,817,892	2,748,485	2,892,987	3,519,312	3,023,053	3,041,910	3,063,592	3,136,789	3,132,482	3,137,003	3,159,963
		職員給与費	66,099	80,573	80,976	81,381	81,788	82,197	82,608	83,021	83,436	83,853	84,272	84,694
		経費	666,012	857,282	869,222	884,809	907,424	923,667	940,205	956,276	979,603	996,317	1,013,373	1,030,785
		動力費	92,999	138,218	141,121	144,084	147,110	150,199	153,354	156,421	159,549	162,740	165,995	169,315
		委託料	366,288	457,018	466,616	476,414	486,419	496,634	507,063	517,205	527,549	538,100	548,862	559,839
		流域下水道維持管理負担金	87,454	114,690	111,036	110,701	117,059	116,705	116,297	115,889	122,409	121,979	121,549	121,124
		減価償却費	1,822,977	1,865,037	1,788,288	1,916,797	1,930,100	2,016,189	2,018,097	2,023,296	2,072,750	2,051,312	2,038,358	2,043,485
		固定資産除却費	4,884	15,000	10,000	10,000	600,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		営業外費用	253,103	405,511	607,188	748,680	849,495	674,901	712,077	781,145	769,493	776,673	779,989	788,502
		支払利息	158,873	169,127	272,143	392,526	507,308	580,411	601,382	623,124	657,031	670,509	679,604	684,698
		支出計	2,813,075	3,223,402	3,355,673	3,641,666	4,368,807	3,697,954	3,753,987	3,844,738	3,906,282	3,909,154	3,916,992	3,948,466
	経常損益		297,443	806,098	882,236	897,539	802,973	6,979	151,513	443,851	503,864	538,951	556,476	560,940
	特別利益		156,306	1,173,368	770,968	1,345,048	1,149,560	10	10	10	10	10	10	10
	特別損失		293,678	1,917,728	1,640,991	2,228,445	1,933,518	1,700	1,500	1,500	1,300	1,300	1,100	1,100
		解体工事費	292,942	1,915,455	1,639,091	2,226,545	1,931,818	0	0	0	0	0	0	0
	特別損益		△ 137,372	△ 744,360	△ 870,023	△ 883,397	△ 783,958	△ 1,690	△ 1,490	△ 1,490	△ 1,290	△ 1,290	△ 1,090	△ 1,090
	当年度純利益（又は純損失）		160,071	61,738	12,213	14,142	19,015	5,289	150,023	442,361	502,574	537,661	555,386	559,850

資本的収支	資本的収入	企業債	514,600	1,821,745	2,776,879	2,289,500	1,878,700	1,092,300	1,279,400	1,725,800	1,216,900	1,128,900	1,096,700	1,105,800
		資本費平準化債	231,200	288,000	248,810	187,200	235,800	263,200	303,100	353,500	353,100	352,900	391,800	366,900
		国庫補助金	585,521	908,829	2,362,450	1,968,500	1,431,000	660,000	788,000	1,215,000	693,500	612,000	538,000	565,000
		県補助金	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
		受益者負担金	9,105	11,303	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		収入計	1,118,226	2,750,877	5,159,329	4,278,000	3,329,700	1,772,300	2,087,400	2,960,800	1,930,400	1,760,900	1,654,700	1,690,800
	資本的支出	建設改良費	1,512,548	2,436,180	5,153,855	4,362,181	3,298,030	1,710,288	1,979,519	2,801,272	1,772,235	1,613,438	1,465,786	1,520,136
		職員給与費	47,878	60,155	60,456	60,758	61,062	61,367	61,674	61,982	62,292	62,604	62,917	63,231
		企業債償還金	1,107,420	1,168,579	1,138,372	1,136,848	1,322,943	1,494,656	1,668,867	1,768,444	1,795,453	1,798,570	1,851,564	1,850,643
		支出計	2,619,968	3,604,759	6,292,227	5,499,029	4,620,972	3,204,945	3,648,386	4,569,716	3,567,688	3,412,008	3,317,350	3,370,780
資本的収入額が資本的支出額に不足する額			1,501,742	1,097,882	1,132,898	1,221,029	1,291,272	1,432,645	1,560,986	1,608,916	1,637,288	1,651,108	1,662,650	1,679,980
補填財源	損益勘定留保資金		911,966	948,462	899,562	959,572	1,136,430	1,334,235	1,087,110	1,006,746	1,021,797	1,012,356	1,013,337	1,023,797
	利益剰余金処分額		0	51,269	51,977	119,587	0	0	361,233	444,144	505,673	537,239	555,601	561,123
	その他		345,776	128,287	181,359	141,870	154,842	98,410	112,643	158,026	109,818	101,513	93,712	95,060
	補填財源計		1,257,742	1,128,018	1,132,898	1,221,029	1,291,272	1,432,645	1,560,986	1,608,916	1,637,288	1,651,108	1,662,650	1,679,980
企業債残高			16,064,460	18,025,276	20,321,833	22,578,647	23,509,855	23,107,498	22,718,031	22,675,387	22,096,835	21,427,165	20,672,301	19,927,457